



ゴロスケ報々



友の会行事のお知らせ

●「みんなで友の会のこれからを考えるワークショップ」に参加しよう●

横浜自然観察の森友の会は、来年度30周年を迎えます。そこで、これまで私たちが積み重ねてきた実績を足場にし、未来に向かっていく会の方向性や具体的アクションなどを考え中長期計画に反映させるため、「みんなで友の会のこれからを考えるワークショップ」を開催し、会員の皆さんと夢や課題を語り合いたいと考えています。

また、このワークショップの準備として、会員の皆さんには7月下旬にアンケート調査のお願いをお届けしました。返信の締め切りは8月20日ですが、まだご回答をいただけていない場合は、速やかにお送りください。

ワークショップは下記の通りです。会員の方ならどなたでもご参加いただけます。ぜひ交流と意見交換の輪に入ってください。

日時：9月17日（日）13時～16時30分 雨天実施

場所：横浜自然観察の森 自然観察センター 研修室

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

森のこぼれ話 ふむふむ

日本の夏のムシといたら、やはりセミは外せないでしょう。

暑い夏に大きな声を力強く響かせ、1週間の短い命を懸命に生きるけなげなムシ。なんて思われていることかもしれませんが、実は大きな間違い。

夏に入る前・梅雨の頃から鳴き始めるニイニイゼミがいますし、落ち葉も増えてくる10月辺りまで鳴いているツクツクボウシもいます。決して夏だけのムシじゃないんですね。

短いと思われる寿命についても、それは土から這い出てきた後の話。皆さんがよく目にする「脱け殻」になる前、地中での幼虫期間が数年もあります。アメリカには、なんと17年も地中で暮らすセミまでいるようです。カブトムシもセミと同様夏に大人になりますが、冬を前に死んでしまいます。厳しい冬の寒さを越すことができるセミは、ムシとしてはかなり長寿な種類になります。

そんなセミ達ですが、最近ではヒートアイランド現象などによって数が減っている種もあるようです。自然観察センターでは種ごとの初鳴きや遅鳴きの記録がされているので、それらのデータから横浜の環境の変化を考えてみる、というのも森を守る活動につながるかもしれませんね。

森の案内人ハンミョウの会・西山レチヲ

事務局からのお知らせ

●7月定例会報告●

日時 2017年7月16日(日) 9:00~10:45

出席者 青木、秋元、井川、上原、大浦(議長)、落合、小島、関根(書記)、高橋、谷垣、中里、中塚、西山、村松、吉田、渡部、掛下R、尾崎R

議題

1. 行事報告

5月下旬から7月上旬の行事報告、活動報告を行いました。
6月の「森を守るボランティア体験」(鳥のくらし発見隊担当)の参加者8名。

2. 行事予定

8月中旬から10月上旬までの行事予定の確認を行いました。

3. 各プロジェクトの活動報告と活動予定の確認を行いました。

4. ごろすけ館の利用希望の調整を行いました。

5. 事務局より

- ・観察の森まるごと体験の要項を承認しました。
- ・金沢区役所区民ギャラリーで「観察の森へ行こう」の展示を行います。
- ・栄区民まつり(11月11日)への参加を確認しました。
- ・新入会員の入会手続きを一部変更しました。

6. センターより

「観察センターだより」のページをご覧ください。

<次回の定例会>

次回定例会は

9月17日(日) 9:00~
観察センター研修室

※定例会は会員の方どなたでも参加できます。

●7月理事会報告●

日時 2017年7月16日(日)晴 11:00~13:04

出席者 落合、大浦、中里、青木、志釜、西山、吉田、谷垣、村松、落合、秋元、漆原、中塚、
関根(書記)、掛下R、尾崎R、
(欠席:山口)

1. 30周年事業関係

①「会員向けアンケート結果を基にした活動づくりワークショップ」について 中塚

- ・アンケート回収方法・内容・日程等を協議
- ・2018年度総会での新長期目標提案を目指し、9/17ワークショップ実施・報告書11月提出で進める
- ・ワークショップ:9/17(日)13:00~16:30。無記名だが一応参加エントリーを求める(参加概数把握)
- ・アンケート内容変更については、今永・中塚・山口・中里・尾崎Rにて確認し、上記日程に合うよう印刷
- ・アンケート締切:8/20(日)。返信封筒同封にて、友の会に返信
- ・印刷と発送:タックシール印刷・封筒貼付け(7/16)、封入・発送 7/19(絵本)

②補助金について 谷垣

- ・候補:公益財団法人イオン環境財団:詳細内容未把握(ホームページでの登録必要のため)
- ・締切りが8/20なので、ホームページ上友の会で登録をし、内容確認し、理事会メンバーリングリストで共有討議し、友の会全体(ZFC以外のPJも含める)かZFC単独で申請する等を検討する

2. 30周年イベント分科会

他の議事に時間を要したため、分科会は開催できず、部会メンバー確認をした

- ・イベント部会:志釜、関根、村松、吉田、谷垣
- ・記録誌部会:落合、高橋(む)、秋元、中塚
- ・グッズ部会:西山、大浦、中里

<次回理事会>

日時 9月17日(日)11:00~12:30

場所 自然観察センター研修室

定例行事の報告

●森を守るボランティア体験(6月)報告●

6月18日(日) 参加者8名 鳥くらスタッフ6名、レンジャー1名

担当:鳥のくらし発見隊

体験テーマ:夏鳥の歌をきこう

3時から雨の予報。空模様を気にしながらの森ボウでした。

室内で観察の森、友の会の説明のあと、外へ出ました。鳥は少なかったのですが、ホトトギスの鳴き声やシジュウカラの幼鳥などを観察することができました。炭小屋や畑をまわり、センターに戻る頃にはポツポツ降ってきました。

昼食後のゴロ報発送作業は、5名の方々にお手伝いをいただきました。

入会者は2名(ZFCと鳥のくらし発見隊)でした。

●定点カメラで動物調査報告●

定例行事の報告

観察の森では、レンジャーと友の会が協力して、環境省の「モニタリングサイト 1000 里地調査」に参加しています。この調査は全国で 100 年間、統一された方法で様々な生物を調査し、生態系の変化をモニタリングしていこうという主旨で、2008年の秋から始まりました。そのうちの一つ、哺乳類の調査では、定点カメラで撮影された動物を調べます。

5月14日に森の中の3か所にカメラを設置し、6月10日に回収し、写真チェックを行いました。写った哺乳類は、おなじみのタヌキ、ノウサギ、ネズミの仲間、タイワンリス、アライグマ、ハクビシン、そしてネコ。今年はハクビシンが3か所全てで写るなど、例年より多くなっていますが、何か理由があるのかなあ、なんて考えながらやっています。

写真チェックはセンター内のディスプレイを借りて、通りがかりの方々にも見てもらえるようにして、わいわい言いながらたくさんの目で見てもらっています。

●今後の予定（時間は全て9：30～12：00。写真チェックは11：00から。）：

8月12日：カメラ回収と写真チェック

9月9日：カメラ設置と写真チェック

10月14日：カメラ回収と写真チェック、ゴロスケ館写真展設営

11月11日：写真展撤収、写真チェック

興味ある方、一緒に調べませんか。

●安全講習「横浜の危険な植物」報告●

友の会活動報告

毎年、野外で活動をする会員の安全に役立つテーマで行っている安全講習。

今年度は6月3日（土）に「横浜の危険な植物」をテーマに実施しました。

講師として、横浜市緑政のお仕事を通じて横浜自然観察の森の設立にもかわり、横浜市こども植物園の園長も務められた六浦勉さんにお越しいただき、各プロジェクトから24名が参加しました。

前半は研修室で座学。口にしたり触れたりすることで人に危険な植物と言っても、野草に限らず、園芸種にも意外と危険なものが多く、また菜園での混入で口に入るものもあるようです。

後半はフィールドに出てミニ観察会。ちょうど、致死性の高い「ドクウツギ」が赤い実をつけている時期でもあったため、トンボ池の方まで足を延ばしました。

基本は、わからないものは口にしないことに尽きますが、思い込みや見間違えることもあるので、十分な注意が必要です。

ところで、いただいた資料によれば、毒による食中毒が患者数で一番多いのは、、、、実はジャガイモだそうです。芽を出したのや緑色のものを調理する際には気をつけましょう。

●ミズキの池ハイド前の環境整備をしよう●

友の会行事のお知らせ

夏中繁茂した草でハイドの覗き窓から池への見通しが悪くなっています。

残暑が厳しいとは思いますが、皆で汗を流し、来園者の為ハイド前の草刈を行いましょう。

1. 実施日時： 9月3日（日） 9時10分～11時頃まで
2. 集合場所： 自然観察センター前
3. 作業場所： ミズキの池ハイド前
4. 服装等： 汚れても良い服装。飲料。軍手。（少雨決行）
5. 参加資格： 会員限定（中学生以上）

担当 カワセミファンクラブ

友の会行事のお知らせ

●森の作業体験 ～「伐倒」の体験をしよう！～●

日時：9月16日（土）10：00～14：00

集合場所：横浜自然観察の森（栄区）内 炭小屋

対象：小学生以上30名（8月1日から受付、申込順）小学生は保護者同伴

服装と持ち物：汚れてもいい服装（長袖長ズボン）、スニーカー、帽子、軍手、汗ふき用タオル、
昼食、飲物

雨天：前日18時30分以降の天気予報で降水確率50%以上は中止です。

申込：9月8日（金）までに、下記に電話、FAX か eメールをお送りください。

参加者全員のお名前（子供さんは年齢）、連絡先の電話番号か FAX 番号又はメールアドレスをお知らせ下さい。

申込 TEL：045-894-7474（9：00～16：30月曜休館）

FAX：045-894-8892

メール：kansatsunomori@gmail.com

当日、木工体験（コースター作りなど）もできます。炭焼きがみられます。

担当：横浜自然観察の森 友の会 雑木林ファンクラブ

●カワセミファンクラブ秋の特別写真展「野鳥の♂♀の違い写真展」●

この森で見られる野鳥には、♂と♀で見た目がこんなにも違う鳥がいるんだ、と来園者に気付いてもらい、この森の面白さを目で感じてもらう企画展です。

野鳥に関心のある会員の方々にも是非ご覧頂きたいと思えます。

1. 開催期間： 2017年10月1日（日）～12月2日（土）
2. 開催会場： ごろすけ館
3. 主催： 友の会「カワセミファンクラブ」

●写真展「森の生きものたち」●

ゴロスケ館にて開催。10/15（日）～11/10（金）まで。

担当：定点カメラで動物調査

●金沢まつりいきいきフェスタ出店●

「金沢まつりいきいきフェスタ」に友の会が出店します。ぜひおいでください。

10月21日（土） ※雨天22日（日） 海の公園にて

●横浜自然観察の森まるごと体験●

共催行事のお知らせ

10月22日（日）10：00～13：40（受付9：45～） スタッフ集合 9：30
（観察センター、友の会共催行事）

申し込み：9月11日から 先着順30名

8つのPJが、工夫を凝らした内容で、ミニ体験や展示解説を行います。

行事などで参加を呼びかけてください。詳しくはセンター、ごろすけ館のチラシをご覧ください。

【報告】★保全管理懇談会 第1回★ 6月25日(日) 15:00~17:00

- 参加者 友の会10名(山口博一さん、村松古明さん、佐々木美雪さん、藤田剛さん、谷垣勝彦さん、吉田賢一さん、藤原功さん、片岡章さん、西山健太郎さん、落合道夫さん) 横浜市2名(菊池昌人さん、塚本梓乃さん) レンジャー2名(掛下尚一郎、黒川麻紀野)
- 内容 今年度、横浜市(委託業者)の行なう草刈や外来種の伐採等の環境管理作業、レンジャーの行なう環境管理作業等についての報告と環境管理の課題表について共有し、意見交換を行いました。

【報告】★保全管理フォローアップの会 第2回 7月1日(土) 13:00~15:00

- 参加者 友の会11名(藤原功さん、落合道夫さん、渡部克哉さん、篠原由紀子さん、佐々木美雪さん、谷垣勝彦さん、吉田賢一さん、関根和彦さん、西山健太郎さん、和田全弘さん、村松古明さん) 横浜市(塚本梓乃さん) レンジャー(掛下尚一郎、黒川麻紀野)
- 内容 桜林の草本層の植生の変化を記録するために設置した調査区のうち、北側の1区画を調査しました。また、4月に開放されたピクニック広場の様子を見に行き、外来種のブタクサの抜き取りを行いました。

【募集】★クツワムシ分布調査

- 今年も夜間のクツワムシ分布調査を行います。「ガチャガチャガチャガチャ…」と鳴くクツワムシはやぶに住む昆虫で、神奈川県内では数が少なくなっています。園内では桜林を中心に分布していますが、クツワムシを調べることで、やぶの環境をうまく残せているかどうかを確かめます。一定のコースを歩きながら、クツワムシの鳴いている場所をみつけて、地図に記録します。興味のある方はぜひご参加ください。要申込み：レンジャー掛下 kakesita@wbsj.org まで。
- 調査日 8/26、9/2、9(いずれも土)★風雨激しい場合は翌日同時刻に延期
 - 集合 18:30 自然観察センター 中締め 20:10 終了 21:10 自然観察センター付近
 - 準備等：歩きやすい調査のできる服装(長袖・長ズボン)・靴で。懐中電灯、虫よけ、筆記用具。

【募集】★保全管理フォローアップの会 第3回

9月2日(土) 13:00~16:00 勉強会「草地のバッタを調べよう」

講師：槐真史さん(厚木郷土資料館学芸員)

2013年のフォローアップの会で、桜林とピクニック広場のバッタ類を調べました。今年、ピクニック広場が再オープンしたことでどのようなバッタ相になったかを、前回もお世話になった槐さんをお招きし、みんなで調べ2013年と比較してみたいと思います。バッタの最新の識別やすみわけのお話などもしていただきます。なお資料の準備の都合上、ご出席いただける方は、できるだけ前日までに掛下、黒川までご連絡ください。

【開催中】ミニ企画コーナー「夏だ！セミの季節だ！」

夏といえばセミ！成虫は鳴き声ばかりでも、セミの抜け殻ならきっと見つかりますよね。「ふーん」と通り過ぎてしまったり、集めるだけで飽きてしまう抜け殻。でも、昆虫の体のつくりを学ぶにはもってこいです。このミニ企画では、どーんと大きく拡大した「抜け殻サイコロ」をご用意。サイコロと実物を比べながら、トゲトゲの脚やストローのような口にぜひ注目してみてください。

気になる今年のセミの鳴きはじめ速報も展示しています。



【報告】ホタル ゲンちゃんヘイちゃんの紙芝居劇場 今年もにぎわいました！

今年も6月の土曜日に3回、ホタルの一生を学び、観察マナーを普及するイベントを開催しました。家族連れを中心に各回100名以上が参加し好評でした。また、観察場所ではよくマナーを守ってホタルを楽しんでくれていました。実施にあたっては、のべ16名の友の会のみなさんにご協力いただきました。夜遅くまでの活動をありがとうございました。

ちなみに今季のホタルはゲンジボタルの発生のピークが遅めでした。シーズン通しての調査結果を、観察センターで展示していますのでご覧ください。



ボランティア

** 5/31 ~ 7/31 **

ありがとう

- 6/7 雑木林ファンクラブのみなさん
〔観察センターのストーブ用薪の提供〕
- 6/7・15・22・28、7/5・12
鳥の暮らし発見隊 水上重人さん 〔ホタル発生状況調査への同行〕
- 6/17 森の案内人ハンミョウの会 西山健太郎さん
野草の調査と保護 佐々木美雪さん
鳥の暮らし発見隊 佐々木彩愛さん
自然と遊ぼう 村松古明さん
PJ-STRIX 秋元文雄さん
〔ゲンちゃんヘイちゃんの紙芝居劇場のサポート〕
- 6/24 森の案内人ハンミョウの会 西山健太郎さん
カワセミファンクラブ 石川裕一さん
自然と遊ぼう 村松古明さん 小泉喜弘さん
〔ゲンちゃんヘイちゃんの紙芝居劇場のサポート〕
- 6/25 理事の皆さん〔利用推進会議〕
- 7/13 カワセミファンクラブ 石川裕一さん 〔園路上のハチの巣のお知らせ〕
- 7/15 雑木林ファンクラブのみなさん〔日清オイリオ(株)CSR 対応補助〕
- 7/29 雑木林ファンクラブのみなさん〔栄高校夏季ボランティアの対応協力〕
雑木林ファンクラブ 吉田賢一さん〔自転車の寄贈〕
- 7/20 カワセミファンクラブ 平野貞雄さん〔コナラの谷の作業サインの作成〕
- 7/23・30 カワセミファンクラブ 石川裕一さん
〔イベント水辺の生きもの調査隊へのご協力〕
- 5/31~ カワセミファンクラブの皆さん
〔展示用野鳥・昆虫写真、自然情報のご提供〕
- 5/31~ 野草の調査と保護プロジェクトの皆さん
〔開花情報のご提供〕

行先：大久保香苗

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）
〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892
E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

行事スケジュール 8月～10月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●

- ミズキの池ハイド前の環境整備をしよう
9/3(日) 9:10～11時頃まで
自然観察センター前集合 →4ページ参照
- 森の作業体験「伐倒」 →5ページ参照
9/16(土) 10:00～14:00
申込：9/8(金)までに電話、FAX、メール
- みんなで友の会のこれからを考えるワークショップ →1ページ参照
9/17(日) 13:00～16:30
自然観察センター研修室にて
- 野鳥のみ女の違い写真展 →5ページ参照
10/1(日)～12/2(土) ゴロスケ館にて
- 写真展「森の生きものたち」→5ページ参照
10/15(日)～11/10(金)
ゴロスケ館にて

●自然観察センター主催行事●

■【幼児向け 生きものとして森さんぽ】

レンジャーといっしょに森の自然を観察しよう!
開催日：9/23(土)、24(日)
時間：各回10～12時(各回同一内容・雨天決行)
対象：3～6歳の未就学児とその保護者各回40名(抽選)
申込：以下の申込項目を明記の上、9/9(土)までに電子メールまたは、FAX、往復はがきでお申し込みください。
①イベント名と日時
②参加者全員の名前
③お子様の年齢
④代表者の連絡先電話番号
⑤FAXの時はFAX番号、往復はがきの時は返信先住所氏名
⑥どこでこのイベントを知ったか
※自然観察センターの連絡先は7ページ参照

●共催行事●

★横浜自然観察の森まるごと体験

10/22(日)
10:00～13:40(受付9:45～)
申込：9月11日から 先着順30名
→5ページ参照

発行日 2017年8月20日
発行 横浜自然観察の森友の会
FAX 045-894-8892
E-mail: kansatsunomori@gmail.com

●友の会 定例行事●

- 季節の森を歩こう(園内の自然案内)
～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
9/3(日)・10/1(日)
1回目 11:00～ 2回目 13:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：どなたでも
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●定点カメラで動物調査

9/9(土)、10/14(土)
9:30～12:00
※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。センターに確認のこと。
対象：友の会会員向け
持ち物：汚れても良い、白っぽい服、動きやすい靴で。タオル、水筒持参
集合：ゴロスケ館集合
活動日：5月～11月の毎月第2土曜日

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～
9/10(日)・10/8(日)
9:00～13:00 少雨決行
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～
9/20(水)・10/18(水)
10:30～12:00 絵本作製
受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～
9/16(土)・10/21(土)
10:00～12:00 雨天中止
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～
9/23(土)・10/28(土)
1回目 13:00～ 2回目 14:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：子どもから大人までどなたでも
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜